

平成28年度入学式



4月11日(月)、新入生161名を迎え、入学式を挙りました。式辞で鈴木校長は激励の意味を含めて次の3点について新入生に言葉をくださいました。

- ①積極的に学習に取り組むこと。
- ②思いやりの心と規範意識をもち、社会に貢献できる人間になること。
- ③部活動に積極的に参加すること。

対面式 クラブ紹介

4月12日(火)、新入生と会場の都合で入学式に参加できなかった在校生の対面式が行われました。緊張した面持ちの新入生に対して、在校生を代表して生徒会長が歓迎のことばを述べ、新入生代表も「上級生の皆さんよろしくお願ひします。」と元気に挨拶しました。

また、午後は新入生へのクラブ紹介が行われ、体育・文化クラブがそれぞれユーモアを交えた楽しいクラブ紹介・勧誘を行いました。

28年度各教科から生徒への約束手形

本校では年度末の生徒による授業評価をもとに、生徒に対しての約束手形(今年度の授業の進め方や重点を置く点など各教科からの生徒への約束事)を出しています。

《国語》

- ・漢字テストを週1回実施します。
- ・漢字検定等各種資格取得をめざす生徒が増えるよう努めます。

- ・定期的にノート提出を求め、予習・復習ができていくか確認します。
- ・授業規律を乱す生徒の評価を厳しくします。

《社会》

- ・表現力をのばす授業を目指します。
- ・定期的にノート提出をしてもらい、授業の受け方などを改善してもらえますようにします。
- ・夏休みに進学補習を行います。

《数学》

- ・1・2年 普通科→週1回の問題演習ノートの提出を課します。
- 商業科→年に6回程度問題演習ノートの提出を課します。
- ・夏休みに2・3年の進学生徒を対象に補習を行います。

《理科》

- ・小まめに小テストを行い基本事項の定着を図り成績にも反映させます。
- ・基礎学力を定着させるため宿題を課します。

《英語》

- ・商業科→全商英検対策の強化を行います。

- ・普通科→定期的な単語テストの実施により単語力を強化します。

《芸術》

- ・日常生活に関連したテーマを教材にして、芸術を学習します。
- ・視聴覚教材等を利用して、多様な芸術活動を学習します。

《家庭》

- ・板書、指示、説明を丁寧にし、ノート提出で確認します。
- ・復習テストと定期テストを連動して取り入れます。
- ・地域の食材、文化などを教材に取り入れます。

《保体》

- ・(体育) 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように授業内容、授業展開をさらに工夫します。また、生徒の自主的・自発的な行動を促しながら、実技の基礎基本を習得し、また、その技能を高めることができるように指導していきます。さらに、個別指導も大切に、全ての生徒に目を配ることができるようにします。
- ・(保健) 生徒が興味をもって楽しみながら取り組める授業展開を考え、また、規律ある授業を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していける態度が育つよう指導していきます。

《商業》

- ・検定取得のための補習時間を延べ年間300時間以上行います。
- ・全商検定3種目以上1級合格者を学年の20%以上となるよう指導します。

退職・転出された先生方

岡川 泰宏 先生	(教頭)	定年退職
森本 貴英 先生	(商業)	和歌山北高校(教頭)へ
関 文雄 先生	(社会)	紀北工業高校へ
村上 仁美 先生	(数学)	橋本高校へ
林 茜 先生	(理科)	南部高校へ
田中 仁美 先生	(保体)	市立和歌山高校へ
熱川 文崇 先生	(商業)	県立和歌山商業高校へ
濱田 阿由美 先生	(国語)	粉河高校へ
瀧田 昌佳 先生	(英語)	熊野高校へ
山本 知佳 先生	(英語)	退職
那須 素子 先生	(商業)	紀の川高校へ
西山 眞司 先生	(校務)	退職
森内 清美 先生	(校務)	退職

転入された先生方

森下 兼男 先生	(教頭)	橋本高校より
佐藤 昌久 先生	(社会)	新規採用
松浦 達也 先生	(理科)	伊都高校より
藤木 昭子 先生	(保体)	紀の川高校より
寺村 仁志 先生	(商業)	和歌山東高校より
尾原 光太郎 先生	(数学)	伊都高校より
里脇 公泰 先生	(英語)	新規卒業
芝崎 純平 先生	(商業)	社会人より
前田 洸作 先生	(保体)	さくら支援学校より
西 喜代美 先生	(校務)	新規採用
山本 勇 先生	(校務)	新規採用

5月の学校行事

9日(月) 1学期中間考査発表
10日(火) 新体力テスト 交通街頭指導
16日(月)~19日(木) 1学期中間考査
19日(木) 熱中症に関する講演会
20日(金) 総体壮行会 PTA総会 進路講演会
24日(火) 教育実習開始

